



小鯖小学校だより 3月号

令和4年3月1日
山口市立小鯖小学校

【学校教育目標】 確かな学力と豊かな心をもち、たくましく生き抜く小鯖っ子の育成

【めざす子ども像】 困：思いやりのある子 逞：さわやか元気な子 ば：ばっちり学ぶ子

第4回学校運営協議会で

今年度重点取組事項の総括をしました！

校長 高田 修司



10月に保護者・地域・児童等対象で実施した「コムスクアンケート」の結果と、11月に教職員と学校運営協議会委員が共同で診断・分析した内容をもとに、2月9日に第4回学校運営協議会を開催し、今年度重点取組事項の評価や総括を行いました。

今年度の重点取組事項は、「保護者、地域と共に歩む学校づくり」「かわり合い、認め合い、高め合う人間関係づくり」「心身共に健康な児童の育成」「児童の学ぶ意欲の向上と確かな学力の定着」でしたが、いずれも「A」もしくは「B」の評価をいただき、それぞれの取組が徐々に深化、充実してきていることの確認をしていただきました。

以下、協議会で委員さん達からいただいたご意見を記します。

○コロナ禍で地域行事の多くが中止となり地域連携推進は困難だったと思う。でも学校ができる限り行事や活動を実施し、家庭・地域との絆を深めてくれたので良かった。



○「あたりまえ10箇条」を意識させる取組を校内で増やしていることは素晴らしい。

○あいさつ運動の強化でさらに交流を深めながら、子ども同士の挨拶も増えると良い。



○子どもたちが助け合おうという姿勢で取り組んでいる場面が多く見られるようになった。

○教職員も保護者も子どもとよく話す機会をもち、いじめなどの未然防止や早期発見に努めることが大切だと思う。

○車での送迎が多いことが気になる。体力低下、そして友人関係にも影響があるのでは？

○よい姿勢や食育の大切さなどをもっと認識すべきである。

○家庭での姿勢指導が低調ともとれるが、くつろぎの場でもあり、なかなか難しいのでは？



○授業改善や朝学の充実など、学校が学力向上や定着に向けてしっかりと取り組んでいることがよくわかった。

○勉強が苦手な子どもに対して、家庭や地域からももっとアプローチできたらよい。



これらの評価やご意見をもとに皆さんと共に考えながら、新たに来年度の取組を進めていきたいと考えています。

新年度こそ「コロナ退散！」「熟議復活！」となることを願って…。